



No. 137

平成28年3月2日 発行  
吾妻教育事務所  
吾妻郡町村教育委員会連絡協議会

## 存在感

東吾妻町教育委員会 教育長 小林 靖能



「タッ タッ タッ」速くてリズムカルな足音が迫ってくる。「がんばりましょう。お先に失礼。」の声に「ありがとうございます。がんばってください。」と返す言葉が届いたかどうか、あっという間に先へ。ランナーの右肩から左腰にチームの襷が掛かっている。

平成27年11月、東吾妻町駅伝競走大会。全長17kmの6区間。その中の3区(2km)の襷を受けたときの順位が16位の走者を最終17位の走者が抜き去る本駅伝の一場面である。この区間で順位が最下位になり、記録も最下位であろうが、肩に掛けた襷を4区の走者に渡す走りができる体力と気持ちの面の心配はない。中継地で襷を渡す。

〇〇大会に一人の走者として走ることは楽しいし、走り終えた充実感はある。駅伝は、受けた襷を次走者に渡す使命感があり、渡し終えたときの達成感は格別である。チームの一員として最低の役割を果たすことができた、と走る機会と場を与えてくださった大会の関係者・協力者、沿道で声援を送って下さった方等、多くの方々への感謝とともに、自分の存在感を感じることができる。

存在感は、チームの一員として温かく前向きな気持ちになれる見守りなど、周りにいるみなさんの関わりがあるなか、自分で感じ育み培うことができるのではないのでしょうか。

## 英語教育は授業を見ることから

吾妻教育事務所 管理主監 野本 泉



現在嬭恋村は英語教育強化拠点事業の指定を受け、小学校及び中学校が2年目の取組を行っています。昨年11月には東部小学校で4年生の英語活動(活動型)と5年生の英語活動(教科型)の授業が公開されました。管内の小中学校の先生18人が参加しました。先生方からは「小学生でもこんなに英語を使っているのか」「こういう形で授業を進めればよいというモデルを示してもらった」などの意見が聞かれました。新しい学習指導要領が平成32年度から全面実施され、英語教育では小学校3・4年生の英語活動(活動型)の導入、小学校5・6年生の英語活動(教科型)の導入、中学校では英語による授業の実施や言語活動の量的・質的充実が求められます。また、平成30年度の小学校3年生からは段階的に先行実施されます。

これらの英語教育改革に対応するために、今小学校や中学校では何をすればよいのでしょうか。最初に、先生方が先進校等で実施されている授業を直接見て、求められる授業や取組のイメージをもつことが大切です。今後も嬭恋村等では授業公開が予定されますので、ぜひ授業を参観してください。

次に、町村単位や中学校区単位で小学校と中学校が互いに授業参観や意見交換を行い課題を明確にしつつ取り組むことが大切です。カリキュラム等についても教科書等が配布されるまで総合教育センターで作成したカリキュラム等を活用することが取り組みやすいと考えます。各町村の小学校と中学校が連携・協力しながら、これらの英語教育に取り組むことが管内の児童生徒の英語力の向上に結び付くと考えます。